

雫石地区の実践活動

令和元年度

令和元年度、雫石地区では4つの実践・チーム活動が行われました。

「リノベ&防災」

豪雨災害等で床下浸水した家屋の、泥出し等に関する基礎知識を学ぶことを目的とした取り組み。和室と洋室の二畳ほどの床下模型を作り、ボランティアフェスティバルで展示を行いました。9月にはその床下模型を使い、実践に役立つ講習会を開催。講習で得た知識を持って、台風19号で被災した普代村へボランティア活動に参加をし、実際に床下浸水した家屋の床板をはがしたり、泥出しを行いました。

「しずくいし雪灯り&はしご酒」

にぎわいの創出や交流を目的にして活動している雪灯り&はしご酒。今年度は“雫石商工会青年部”も交え“よしゃれ通り周辺JV.”と“地域づくり会議”の共催となりました。学童をはじめとした子ども達に、雪灯りの経木に絵を描いてもらったり、中学生や大学生に準備作業を協力してもらったり、大人から子供までみんなが関わる雫石の冬の一大イベントとなりつつあります。

「みんなに優しい道づくり」

地道な活動を続けてきた道づくりチーム。今年度は大きな成果が二つ生まれました！一つは昨年度実施したよしゃれ通りの歩道幅実証実験を得て、よしゃれ通りの歩道幅が広くなりました。さらにはメンバーの要望により、しずく×CAN横に防犯灯が設置されました。「よしゃれ通り推進会議」や「よしゃれ通り活性化委員会」と共に、さらなる優しい道づくりを目指して取り組みを行っています。

「しあわせのおくりもの」

雫石のみんなをしあわせにしたい！誰もがしあわせに暮らし続けるまちづくりを目指して、今年度新たに生まれた活動です。今年度は2月22日23日にまちおこしセンターしずく×CANで子どもの胎内記憶をたどるドキュメンタリー映画「かみさまとのやくそく」の上映会を開催しました。

